

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200528		
法人名	株式会社宇宙 SORA		
事業所名	グループホームありがとう一番町(2階)		
所在地	静岡県静岡市葵区一番町30		
自己評価作成日	平成25年3月10日	評価結果市町村受理日	平成25年3月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2012_022_kami=true&jiyosyoCd=2294200528-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所
所在地	静岡県葵区紺屋町5-8 マルシビル6階
訪問調査日	平成25年2月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

交通の便がよく、近くに公園やスーパーなどもある為、積極的に散歩や買い物に行ける環境にある。
 提携医や看護師との連携も24時間体制であり、状態の変化に気付いた場合は速やかに連絡できる体制の為、ご本人、ご家族はもとより、職員にとっても医療面への負担を軽減することができる
 入居者一人ひとりの思いを尊重し、常に話し合う事で柔軟に対応できるよう、職員は意識しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

商店や住宅に囲まれ、公園に隣接した3階建ての建物で事業を運営しています。近隣にある一番町保育園との交流は毎年の恒例行事となり、園長先生の協力のもとクリスマスの日には園児が歌を披露してくれるなどの関係が継続しています。天気の良い日には外気浴や散歩などは利用者からの希望もおおく積極的に外出しています。午前中に体操の時間を設けていて、リズム体操や職員考案の体操、利用者の考えた体操なども取り入れて健康な生活をめざしています。開始時間になると利用者が共用空間で待ちわびているほどの人気になっています。昨年6月に前任管理者が退職したため、ユニットリーダーなどを歴任した現在の管理者のもと、「和気あいあいとした雰囲気」が実現されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) <input type="radio"/>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) <input type="radio"/>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) <input type="radio"/>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) <input type="radio"/>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) <input type="radio"/>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) <input type="radio"/>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) <input type="radio"/>	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) <input type="radio"/>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) <input type="radio"/>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) <input type="radio"/>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) <input type="radio"/>		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に、会社の理念を声を出し唱和し理念に添って仕事ができるよう心がけています。	法人理念を毎朝唱和し、「ありがとう」という感謝の気持ちをあらためて思い起こしています。「一日笑顔で、ありがとう」という目標にむかって、職員も笑顔で一日を過ごすようにしています。ユニットリーダーやケアマネジャーを中心として理念の浸透が図られています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会には加入しているが、積極的には参加出来ていない。	自治会に加入し、職員が「公園掃除」をおこなったり、利用者と一緒に「防災訓練」に参加しています。寄付の依頼があったり、消防団から協力依頼もあります。隣接している公園では、近所の人と気軽に交流できるため利用者も散歩を楽しみにしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩等の際には、近隣の方たちと挨拶を交わしたり、公園での交流もある。町内会などの行事を教えていただくよう働きかけている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の定期開催ができていないが職員への周知や改善への取り組みはミーティングで話し合い、対応したいと考えている。	管理者の交代があったため、今年度は定期開催には至りませんでした。今年1月に開催された運営推進会議では家族と地域包括支援センター職員が参加しました。参加者の中からは、安全な運営についての意見などが挙げられています。	回数や委員の参加など、運営推進会議の充実が期待されます。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村への担当者への連絡や、相談は積極的に行っている。	市の窓口には直接出向いています。介護券を受給している利用者も多くいるため、生活支援課とも連携しています。	地域包括ケア会議等への参加を期待いたします。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束0宣言をしており、玄関、居室、フロア入口への施錠はしていません。	身体拘束ゼロ宣言をし、身体拘束はおこなっていません。入所時に、万一拘束が必要な場合の対応について家族に予め説明しています。「利用者の車いすに鈴をつける」などの安全措置には、予め家族と協議し同意を得ています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内外の研修はしていないが、スピーチロックや業務優先にならないよう、入居者の思いを第一に考える事はミーティング等で話し合ったり職員同士で注意し合ったりしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する理解を深められるよう担当職員と話しあう場を設けるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、必ず読み合わせをしながら説明をしています。面会時においても、必ずご家族と話す機会を頂き、不安や疑問についての相談、ご理解を得られるよう努力しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営規定に苦情窓口を表記している。また、玄関に意見箱を置きホーム内で対応できるようにしている。	家族には「ありがとう新聞」を発行しています。運営推進会議に参加した家族からの意見で「職員の顔と名前が覚えにくい」という提案があったため、近日中に職員紹介を作成する予定があります。家族からは積極的に発言があります。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングにて意見や提案、発言の出来る機会を設けている。	ミーティングにて職員意見を募ってます。また必要に応じて随時、個人面談をおこなっています。ユニットごとの取り組みや、服薬管理の向上、ゴミ箱の設置に至るまで運営改善に向けての意見は積極的に取り入れています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則、給与規定に基づき働きやすい環境づくりを目指し努力しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修を積極的に受講できるよう就業環境を整え、共有できる機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のホームを訪問したり、職員同士の交流でサービスの向上や、イベント、レクリエーションの取り組みに生かしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思いを尊重し、まずは信頼関係を築けるよう、どんなお話でも傾聴し受け入れることを心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族からも自宅での生活の様子や、身体的な事についても情報をお聞きしています ミーティングにて、職員への共有を図っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人とご家族の希望を重視し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員の無理強いや、一方的な支援にならないよう必ずご本人の意思を確認するようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	問題や要望がある場合は、必ずご本人とご家族の意志を確認するようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご友人の面会など来訪されている。	曜日ごと頻繁に家族が面会に来てくれています。花壇を手入れや編み物などの趣味を継続している人もいます。雑誌の購読を希望する利用者のため、一緒に買い物に行くこともあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	互いに生活しやすい関係が築けるように、声をかけたり、時には助けたりできるような環境を提供している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、必要に応じ相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日、全員の入居者と関わり、話すことを心がけています。その中で、体調の変化や表情からの思いをくみ取り、職員間で情報を共有し、支援に生かしています。	職員全員が「介護記録」に利用者の言動をそのまま記載しています。ケアマネジャーも介護シフトに組み込まれているため、直接意向を聞き取ることもあります。食事メニューを二択から選んでもらうなど、本人が理解しやすい方法で利用者の意思を把握しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居後も必要に応じ確認している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	気付いたことや、ご家族からの要望は、その都度職員同士で話し合い共有できるよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画期間に添い、ご本人の意向(考え、思惑)やご家族の考え、希望を伺って見直し、又は体調の変化に依るケアの見直しを毎月職員で話し合っている。	カンファレンスを2ユニット合同でおこなっているため、複数の職員から意見が集まります。利用者や家族の意向をもとにカンファレンスで話し合い、必要に応じてユニット間が協力して目標を作成している様子が「カンファレンス記録」からも確認されました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の入居者の様子やケアプランに基づき実践の記録を介護記録に、介護日誌特記事項には体調の変化、往診、受診の記録をし、毎朝の申し送りで職員の意志統一を図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の状況を考慮し、できる限り柔軟に対応しています。(食事への対応、通院などの付き添い)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問マッサージ、介護用品などの支援をしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医による月2回の往診、夜間対応状態に応じて、看護師へ連絡し適切に医療を受けられるよう対応しています。	入居前に、従来からのかかりつけ医による受診か提携医を主治医とするかを自由に選択してもらっています。昨年11月に、訪問診療を主としている医師が提携医となったため、夜間も電話で相談するなどの対応ができます。毎週1回、看護師の訪問もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1週間に1度、看護師の資格を持つ職員を配置しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院前には情報を提供し、退院時には医師又は看護師、管理栄養士に直接、状態や注意事項を指導して頂くようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や週末期の対応について、入居者の要望に応じて支援出来るよう、意識統一をしている。契約時にも、看取りに関する事項の説明をさせて頂いている。	今年度は看取りの実績はありませんでした。事業所としては、本人家族の希望により看取りを積極的に受け入れる方針です。提携医の指示により事業所内で在宅酸素療法をおこなっている利用者もいるなど、重度化しても医療と連携して生活が継続できる様子が視えました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを使用して応急手当や急変時には提携医や看護師と24時間連絡が取れるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の防災訓練への参加はしているが、ホーム内の避難訓練の実施はできていない。	今年度は防災訓練の実施には至りませんでした。消防署による実施指導を受けています。地域の防災訓練には利用者と一緒に参加できているため、今後は事業所内での訓練開催を予定しています。	防災訓練が最低年2回程度は開催されることを期待いたします。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人の今ある状況を大切に思い、毎日を穏やかに過ごしていただけるように対応しています	トイレ誘導では「大丈夫ですか」など、羞恥心に配慮した声掛けをおこなっています。2名の利用者について家族の支援がない等の理由のため、日常生活自立支援事業の制度を説明し、利用に至っています。現在も市社会福祉協議会の担当者と連絡を取り合っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の素直な気持ちを聞き出せるよう、常に語りかけることを心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を優先するのではなく、その日の天候 ご本人の体調、思いを考え、どのように活動、支援するか、目標を持って行動している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	メリハリのある一日が送れるよう、その人らしく気分の良い一日であるよう、更衣する時は相談している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日や様々な行事には、入居者の好みを伺うなど、食事が楽しくなるような気界を多く設ける様にしています。個人個人でできる範囲で食事の準備をさせて頂いています。	法人がメニューを作成しています。魚については新鮮なものを購入することで、利用者によく好まれるお刺身なども定期的に提供されています。誕生日には本人の好きなメニューを用意し、皆で祝っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖分、塩分に注意し、長手、水分量を把握するため 健康チェック表を、個人ごとに毎回記録している。 出来る限り自力摂取できるよう、刻みにしたり 食器も工夫している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、起床時、就寝時に、一人ひとりにあつた 口腔ケアを行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を記入し、その日の排泄状況を把握し、トイレ誘導をしている。	尿意の訴えができない利用者には職員が意識的に声掛け、誘導をおこなう事により、ほとんど失敗もなく過ごすことができています。夜間車いすで自走での排泄だった利用者について、職員の提案によりPTトイレを使用して負担なく排泄できた例もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表から便秘状況を把握し水分摂取や散歩、食事量 提携医による個別の処方箋にて対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者がゆっくり入浴の時間を楽しめるよう職員の調整を臨機応変に行っている。入浴出来ない方には、状態に応じて足浴や清拭などを行っている。	昨年までは日曜日は入浴できませんでしたが、現在は希望に応じて毎日入浴できます。また、入浴時間も希望に応じることができます。利用者ごとにシャンプーやリンスの嗜好があれば居室内に保管してもらい、入浴時に浴室に持ち込んで自分で洗髪することが叶っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの生活歴や状況を把握して対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	担当者ごとに薬の目的を理解するよう心がけている。症状に変化があった場合は、提携医又は、看護師に速やかに連絡をし、指示を仰いでいます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握し、その方にあった役割や楽しみを支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や状況を見ながら、希望に応じて散歩や外気浴、買い物に出掛けるなど、支援している。	一部の利用者は隣接している公園の様子を窓から眺め、人がいたらすぐ出かけるなど地域住民との交流を楽しみにしています。近隣のホームセンターで買い物したり、ドラッグストアにてサプリメントを購入するなどして利用者ごとに外出を支援しています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が希望された時は、職員と共に買い物に行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時間や状況に応じて対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	状態の変化によって、椅子やソファの配置を変えたり、座席替えをしています。	各フロアの入り口には観葉植物が置かれ、共用空間や廊下には、利用者で作成したちぎり絵などが飾られています。清掃活動については法人からの協力も得て職員を指導し、現在は“汚れたら速やかに掃除する、など清潔保持に努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の意志に任せ、テレビや新聞を観たり食卓でおしゃべりしたり、また、居室で気の合う方同士で過ごしたりして頂いている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のなじみ深いものや、使い慣れたものを持ちこんで頂いている。	タンス、ベットは備え付けになっていて、カーテンは利用者が持ち込んでいます。室温の温度は利用者の意見を聞きながら調整しています。居室内には、家族の写真やぬいぐるみ、小物などが飾られ、それぞれ利用者らしさが感じられるレイアウトが確認されました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本の意志を尊重しつつ、声掛けをしながら安全確保に努めています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200528		
法人名	株式会社宇宙 SORA		
事業所名	グループホームありがとう一番町 (3階)		
所在地	静岡県静岡市葵区一番町30		
自己評価作成日	平成25年3月10日	評価結果市町村受理日	平成25年3月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 x.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=229

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所		
所在地	静岡市葵区紺屋町5-8 マルシビル6階		
訪問調査日	平成25年2月1日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎朝の日課としている体操、歌 日によって職員と共に折り紙や、工作を楽しんでおり入居者が楽しんで出来るよう、職員同士で話し合い実施する意識を持っている。食事制限のある方へも、職員同士で連携をとり、柔軟に対応している。

商店や住宅に囲まれ、公園に隣接した3階建ての建物で事業を運営しています。近隣にある一番町保育園との交流は毎年の恒例行事となり、園長先生の協力のもとクリスマスの日には園児が歌を披露してくれるなどの関係が継続しています。天気の良い日には外気浴や散歩などは利用者からの希望もおおく積極的に外出しています。午前中に体操の時間を設けていて、リズム体操や職員考案の体操、利用者の考えた体操なども取り入れて健康な生活をめざしています。開始時間になると利用者が共用空間で待ちわびているほどの人気になっています。昨年6月に前任管理者が退職したため、ユニットリーダーなどを歴任した現在の管理者のもと、「和気あいあいとした雰囲気」が実現されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り時 会社の理念を声を出して唱え 1日理念に添った仕事ができる様心掛けています。	法人理念を毎朝唱和し、「ありがとう」という感謝の気持ちをあらためて思い起こしています。「一日笑顔で、ありがとう」という目標にむかって、職員も笑顔で一日を過ごすようにしています。ユニットリーダーやケアマネジャーを中心として理念の浸透が図られています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会に加入しているが、積極的には参加出来ていない。	自治会に加入し、職員が「公園掃除」をおこなったり、利用者と一緒に「防災訓練」に参加しています。寄付の依頼があったり、消防団から協力依頼もあります。隣接している公園では、近所の人と気軽に交流できるため利用者も散歩を楽しみにしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩等に行く際、近隣の方たちとは挨拶を交わしたり、公園での交流などもある。町内会などの行事を教えて頂くよう、働きかけている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の定期開催ができてはいるが職員への周知や改善への取り組みはミーティングで話しあい、対応したいと考えている。	管理者の交代があったため、今年度は定期開催には至りませんでした。今年1月に開催された運営推進会議では家族と地域包括支援センター職員が参加しました。参加者の中からは、安全な運営についての意見などが挙げられています。	回数や委員の参加など、運営推進会議の充実が期待されます。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村の担当者への連絡や、相談などは積極的に行っている。	市の窓口には直接出向いています。介護券を供給している利用者も多くいるため、生活支援課とも連携しています。	地域包括ケア会議等への参加を期待いたします。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間以外は玄関、フロア入口共に施錠はしていない 日中は二階、三階のフロアも職員同伴の元自由に行き来も出来、夜間も本人の意思で寝起き出来る。	身体拘束ゼロ宣言をし、身体拘束はおこなっていません。入所時に、万一拘束が必要な場合の対応について家族に予め説明しています。「利用者の車いすに鈴をつける」などの安全措置には、予め家族と協議し同意を得ています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	経験の浅い職員もいるので虐待法等の研修会があれば出席していきたい 現在のところ、虐待の問題はない。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する理解を深められるよう担当職員と話しあう場を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、必ず読みあわせをしながら説明をしています。面会時においても、必ずご家族様と話す機会を頂き、不安や疑問についての相談、ご理解を得られるよう努力しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営規定に苦情窓口を表記している。また、ホームの玄関に意見箱を置き、ホーム内で対応できるようにしている。	家族には「ありがとう新聞」を発行しています。運営推進会議に参加した家族からの意見で「職員の顔と名前が覚えにくい」という提案があったため、近日中に職員紹介を作成する予定があります。家族からは積極的に発言があります。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングにて意見や提案、発言の出来る機会を設けている。	ミーティングにて職員意見を募ってます。また必要に応じて随時、個人面談をおこなっています。ユニットごとの取り組みや、服薬管理の向上、ゴミ箱の設置に至るまで運営改善に向けての意見は積極的に取り入れています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則、給与規定に基づき、働きやすい環境づくりを目指し努力しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修を積極的に受講できるよう就業環境を整え、共有できる機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のホームを訪問したり、職員の交流を深めサービスの質の向上や、レクリエーションへの取り組みに生かしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人のお話を傾聴する事を重視している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族より本人の自宅での生活の様子をお聞きし、施設での生活も本人のペースに合わせられるよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と御家族の希望を重視し添えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員の一方向的な気持ち、対応を押し付けず本人の意思を確認するようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何か問題、相談したい時は、本人と御家族の意思を確認している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室内に本人が今までの馴染みの生活用品を持ち込んでいただき生活していただいている、家族、御友人の面会にも来訪していただいている。	曜日ごと頻繁に家族が面会に来てくれます。花壇を手入れや編み物などの趣味を継続している人もいます。雑誌の購読を希望する利用者のため、一緒に買い物に行くこともあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	何気ない会話でも、他の利用者様も巻き込むように声を掛けている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、必要に応じ相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日、全員の方とのかかわりを持つよう心掛け 会話の中から変化を気付くようにしている。	職員全員が「介護記録」に利用者の言動をそのまま記載しています。ケアマネジャーも介護シフトに組み込まれているため、直接意向を聞き取ることもあります。食事メニューを二択から選んでもらうなど、本人が理解しやすい方法で利用者の意思を把握しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常生活、体調等で気付いたり変化があった時、 資料をその都度読み直したりしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	気付いた事等は、職員同志で共有し、 意見の交換している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画期間に添い、ご本人の意向(考え、 思惑)やご家族の考え、希望を伺って見直し、又は体調の変化に依るケアの見直しを毎月職員で話し合っている。	カンファレンスを2ユニット合同でおこなっているため、複数の職員から意見が集まります。利用者や家族の意向をもとにカンファレンスで話し合い、必要に応じてユニット間が協力して目標を作成している様子が「カンファレンス記録」からも確認されました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の入居者の様子やケアプランに元づく 実践の記録を介護記録に、介護日誌特記事項には、体調の変化、往診、受診の記録をし、毎朝の申し送りで職員の意志統一を図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の状況を考慮し、できる限り柔軟に対応しています。(食事への対応、通院などの付き添い)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問マッサージ、介護用品などの支援をしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医による月2回の往診、夜間対応状態に応じて、看護師への連絡をし適切に医療を受けられるよう対応しています。	入居前に、従来からのかかりつけ医による受診か提携医を主治医とするかを自由に選択してもらっています。昨年11月に、訪問診療を主としている医師が提携医となったため、夜間も電話で相談するなどの対応ができます。毎週1回、看護師の訪問もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1週間に一度、看護師の資格を持つ職員を配置しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院前には情報を提供し、退院時には医師又は看護師、管理栄養士に直接、状態や注意事項等を指導して頂くようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の対応について、入居者の要望に応じて支援出来るよう、意識統一をしている。契約時にも、看取りに関する事項の説明をさせて頂いている。	今年度は看取りの実績はありませんでした。事業所としては、本人家族の希望により看取りを積極的に受け入れる方針です。提携医の指示により事業所内で在宅酸素療法をおこなっている利用者もいるなど、重度化しても医療と連携して生活が続く様子が見えました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを使用して応急手当や、急変時には提携医や看護師と24時間連絡が取れるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の防災訓練への参加はしているがホーム内の避難訓練の実施はできていない。	今年度は防災訓練の実施には至りませんでしたが、消防署による実施指導を受けています。地域の防災訓練には利用者と一緒に参加できているため、今後は事業所内での訓練開催を予定しています。	防災訓練が最低年2回程度は開催されることを期待いたします。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの興味のある会話で話し心掛け、利用者の話を否定せず肯定的に受けとめるよう心掛けている。	トイレ誘導では「大丈夫ですか」など、羞恥心に配慮した声掛けをおこなっています。2名の利用者について家族の支援がない等の理由のため、日常生活自立支援事業の制度を説明し、利用に至っています。現在も市社会福祉協議会の担当者と連絡を取り合っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の意思を押し付けないよう本人の思いや考えを聞き、本人の意思に添うようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を優先せず 利用者の体調等を考え、忙しさを感じさせないよう過ごすようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に応じた服装を選び、自分で服装を選んだり 更衣出来る人は本人意思に添うようにしている、 髪飾り、化粧も本人の自由にさせていただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	無理をせず、体調やその時の気分に応じ、手伝い、片付けをしていただいている 時々テーブルの席替えもし、気分を変えたりしている。	法人がメニューを作成しています。魚については新鮮なものを購入することで、利用者によく好まれるお刺身なども定期的に提供されています。誕生日には本人の好きなメニューを用意し、皆で祝っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養師が作成したメニューにもとづいて食事を作っている、健康チェック表に食事量、水分量を毎回記入している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自己で口腔ケアが行える人は見守りをさせていただき、介助すべき人は、お手伝いさせてもらっている、 義歯洗浄剤は個人別に使用している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を記入し、1日の排泄パターンの把握に努め、トイレ誘導している。 夜間のトイレ誘導 パット交換も怠らないようにしている。	尿意の訴えができない利用者には職員が意識的に声掛け、誘導をおこなう事により、ほとんど失敗もなく過ごすことができています。夜間車いすで自走での排泄だった利用者について、職員の提案によりPTイレを使用して負担なく排泄できた例もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩、水分補給、又は、主治医による処方箋にて個別に対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の体調希望により、臨機応変に対応している。患部治療必要な方は毎日足浴をしています。	昨年までは日曜日は入浴できませんでしたが、現在は希望に応じて毎日入浴できます。また、入浴時間も希望に応じることが出来ます。利用者ごとにシャンプーやリンスの嗜好があれば居室内に保管してもらい、入浴時に浴室に持ち込んで自分で洗髪することが叶っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の就寝希望時間に合わせ休んでいただいている、日中も体調に合わせて休息していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	それぞれの利用者別に担当職員をきめ、服薬状況を理解、把握するように努めている、体調の変化を担当医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の得意な事を把握するように努め、お手伝いや、レクリエーションを行ったりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	天候や本人の体調に合わせ、散歩や外気浴をするよう努めている。 ドライブや季節に合わせた外出をするようにしている。希望に応じて散歩や外気浴買い物に出かけるなど、実施している。	一部の利用者は隣接している公園の様子を窓から眺め、人がいたらすぐ出かけるなど地域住民との交流を楽しみにしています。近隣のホームセンターで買い物したり、ドラッグストアにてサプリメントを購入するなどして利用者ごとに外出を支援しています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が希望された時は、職員と共に買い物に行くようにしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時間や状況に応じて対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自立歩行、シルバカー、車椅子の方がおられる為状況の変化によりソファー、テーブル等の配置換えをしたりしている。 年間の季節の行事に合わせ飾り付けをし季節感を味わってもらうように心掛けている。	各フロアーの入り口には観葉植物が置かれ、共用空間や廊下には、利用者で作成したちぎり絵などが飾られています。清掃活動については法人からの協力も得て職員を指導し、現在は“汚れたら速やかに掃除する、など清潔保持に努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の意思に任せ、自由にフロアーを歩き来していただいている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅より本人の馴染みの品物を持ち込んでいただいている。 家具の配置も本人と家族とで相談している。	タンス、ベットは備え付けになっていて、カーテンは利用者が持ち込んでいます。室温の温度は利用者の意見を聞きながら調整しています。居室内には、家族の写真やぬいぐるみ、小物などが飾られ、それぞれ利用者らしさが感じられるレイアウトが確認されました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の意思を尊重しつつ安全確保に努め工夫している。		